

事例 4

マウスの改造

1 相談内容

相談者は対象者の長男です。福祉用具業者からの紹介で相談者が来所され、パソコンのマウスを改造してほしいと相談がありました。現在は、その業者から改造されたマウスを借り、そこへ押しボタンスイッチをつなげて足でパソコンを操作する練習をしているとのことでした。相談者から「マウスがほしいので、改造をお願いしたい。」と要望がありました。

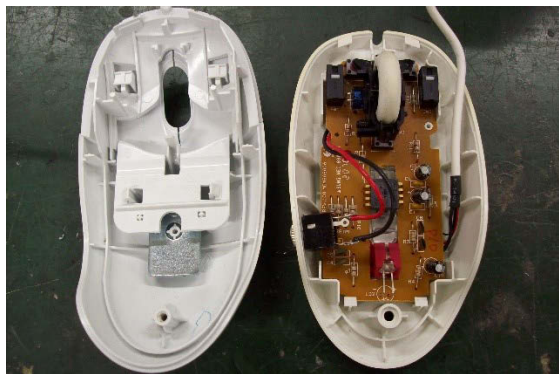
2 対象者プロフィール

80 代女性、筋萎縮性側索硬化症(ALS)です。まだ身体障害者手帳は取得されていません。

いずれ対象者がコミュニケーションに困るときが来ることを想定して、マウスを使ってパソコンの練習を始めています。

3 対応

取付方法は事例 2 と同様ですが、左右のクリックボタン等の可動部品を避け、かつ他の電子部品と接触しないよう、その制限された空間内に外部端子を収めるため、テープで仮止めをして蓋が閉まるかどうかを繰り返して取付箇所を決めました。



左クリックボタンへ外部端子取り付け



改造後の外観(マウス左側に外部端子)

4 結果

相談者の話から、対象者は足でスイッチを押すことによりパソコンを操作するので、ある程度の頑丈な製品が必要でした。そこで外部端子へつなぐスイッチはジェリービンスイッチツイストあるいはビッグスイッチツイスト(いずれもパシフィックサプライ㈱)を使うよう助言しました。またスイッチは平置きではなく、傾斜台やクッションで角度を付けると足部の底背屈にて押しやすくなると説明しました。

5 予算

300 円程度